

明るく元気の出る町

平成12年2月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

2000 **2**
NO.539



男鹿から なまはげ来町

～“蔵むらの冬まつりっコ”より



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

町長と町づくり語る

新春町政座談会

新春恒例の町政座談会が一月四日から八日まで、公民館の七分館主催で行われました。

この座談会は“地域住民の声を町政に”と、毎年正月早々に行われている移動町民室です。各分館からは今年の町づくりに対して活発な意見や提言がなされました。

座談会では阿部幸悦町長が昨年一年をふりかえり、課題や抱負など町政報告を行い、その後各会場の皆さんと町づくりを語り合いました。

宿分館 (高瀬館)

一月四日 31人出席

問 宿河川公園トイレ設置は何年頃に予定されているのか。

答 県の計画にはないので、町でやりたいと思っています。

問 平成十二年に、宿の桜並木の電気を今までのような期間契約から常設に変更したいが、助成金を。

答 明るく元気の出る活動支援事業の補助対象にはなるが、電気料金のあるので東北電力から聞いてみる。

問 宿河川公園の草刈り等管理は委託された形になっているが、草刈りも年三回くらいやらなければならぬ一回一万円くらいの補助では容易でない。

答 当初県でも道の駅に負けないようなものという意気込みで、用地等、県が買収して力を入れたが厳しい財政の中で補助も容易で

なくなった。

問 大琴小学校へ大台地区より

通学する児童は、新堤の所で国道を横断しなければならず、大変危険。何か

よい対策は。

答 公安委員会では、押しボタン式信号がよいのではとっているが、今のところ見直しは立っていない。町としてもお願いしていく。

問 消防出初め式が一月六日だと、ほとんどの会社が仕事を始めているが、一月四日か五日、もしくは第一日曜日に変更できないか。

答 全国的にも六日と言うことで行っている。今年は勤め人が多くなってきたことも考慮して午後にしてみた。その結果を見ながら検討したい。

問 「湯楽里」の閉店時間が九時では早い。十時まで時間を延長できないか。

答 当初から時間をどうするかというところで検討したが、町でやるのだとすれば、儲ければよい主義

だけで他と競合するようではうまくないということと、勤務態勢のこともあり、九時から九時までにした経緯がある。

問 下水道よりも微生物による合併浄化槽がコストも十分の一位で済み、補助金もあり、浄化の度合いもわずか三ppm位、工事でも二三日で済むらしい。町でも下水道未実施地域で検討できないか。

答 バクテリアによる微生物処理方式は何年かには一回は掘り起こさなければならず、補助は一回きりなので、今の方法に決定した。農集排のいかなる所は合併浄化槽にする予定。

問 最近、ワイセツビデオや本の自動販売機が各地に増えてきている。通学路に当たる部分にもあるので、町当局で撤去の要請働きかけができないか。

答 警察では違法ではないと言っているし、地主も土地を貸してしまっているのでも町としてはどうすることもできない。PTAや地元が挙げて要請するなどしか方法はないようだ。

問 大琴小学校の将来について町の考えは。

答 平成十二年度大琴小学校の児童数は三十九人となるが、次の年には十五人の新入児童が入学する。

今が判断する時期であり、四十人が判断基準だと思っている。強引にやるようなものでもないもので、いつ頃がよいか皆さんからも提案してほしい。

教育委員会としては、将来は一校という考えでいるが、段階を踏んで早めに見直しをつけるべきだと思っている。

問 介護保険認定を受けた者は四月一日以降、福祉から介護保険に移行になると思うが、施設等に入らないで自宅介護をする場合など連携はどうなるか。

答 心配されるような自立と判定された方には、これまでのような、デイサービスセンターなどの施設で介護者教室を行うことなどを考えている。

問 携帯電話エリアが狭く大琴地区では使えないことがある。

答 火葬場あたりに小規模のアンテナを建てれば何とかなるのではと思っているところである。

問 町のイメージソング、音頭に振り等つけてPRし町民に浸透するようにできないか。

答 それぞれが振り付けをつけているようだし、統一しなくても楽しんでもらえればよいのでないか。

宿河川にトイレ設置を

▲宿分館座談会（1月4日・午後）

法内分館(克雪センター) 一月五日 35人出席

問 小倉、中ノ沢間県道の陥没

部分の早期修復工事の実施を。

答 県の道路パトロールでも確認

されている。十二年度予算では非

やってほしいと思っている。

問 稲子沢線の落石危険箇所

(狐森の裏)の安全対策を。

答 全体工事は高さがあり困難。

下部について工法などを検討した

い。

問 法内テレビ共同アンテナの

進捗状況はどうなっているか。

答 十二年度予算に盛り込みたい。

問 岩館バイパスの進行予定は。

答 用地買収が三分の二終わる。

来年から藤原さんのところから上

を盛っていく。将来は国道三九八

号に昇格を期していきたい。事業

が始まれば三年位でできると言っ

ている。(事業費約十一億円)

問 旧遠藤辰雄さん宅前のカー

ブが急で危険。広げてほしい。

答 岩館バイパスとのからみで予

算が切られてしまった経緯がある

が、安全のことがあるので別の機

会に要望する。また融雪剤の散布

について、委託業者と連絡を取り

ながら対応していく。

問 松ノ沢線を簡易舗装に。

答 制度上舗装は無理がある。原

材料支給で少しずつ進める手法も

あるが、出羽幹線がらみでも思

っている。穴は補修していく。

問 小田線を早く使わせてほし

い。鞍骨線の冬期間の通行も考

慮してほしい。

答 農道整備規制で小田橋には重

量制限がある。したがって除雪は

できない。使い分けをしてほしい。

問 街灯の老朽化が進んでおり、

数量的に多く維持管理に苦慮し

ている。全町的に取り組んでほ

しい。

答 設備については今のところ助

成に至っていない。

問 少子化でわが町の学校の一

クラスの児童数は少ないがTT

方式を導入できないか。

答 少子化対策はなかなか難しい。

小人数でのTT方式の効果と必要

性はどうか。複式解消につ

いては努力している。

問 介護保険への取り組みは。

答 在宅介護が中心になっていく。

社会福祉協議会にヘルパーをもう

一人増やしたい。JAも養成して

やっていくようだ。充実した内容

になって行くよう望んでいる。

問 町事業が偏重的に感じる。

答 八塩いこいの森づくりに力を

いれている。法内地域では農道な

どの事業も行っているが、全体の

底上げは図りたいと思っている。

問 東光苑の不祥事については

管理監督責任が企業に比してゆ

る。また、臨時職員の名前も

出ていない。

答 町広報に二回にわたって経緯

を掲載している。同じことを繰り

返さないためにも検証、責任の所

在を明確にしていきたい。関係職

員は処分をした。また個々人の被

害額は弁済する。何に使ったかは

調査権に限度がある。名前が出な

いのは捜査上段階のためと思う。

問 高村会館に行く道路改修

を。

答 十二年度に予定している。

問 米の減収はどれくらいで、

対応は考えているか。

答 カメムシ被害による品質低下

分が七千万円程、米価の値下がり

分が七千万円程。規格外Cの識別

検査に要した一袋四百五十円に対

し運賃相当分の百五十円を予算化

した。プロパー資金等に対する利

子補給もする予定。次年度対策と

して、カメムシ再発防止策・防除

法を検討中である。

問 今年の減収の手順を教えて

ほしい。

答 転作面積は昨年同様三五五ハ

クター。転作からどう作目を上

げるかということだ。交付金は基

本的には下がるが、農協で単価を

検討中である。とも補償では出し

た分もらえない状況なので、町と

しては交付金を多くもらうため飼

料作物とからませながら(転作団

地化は無理なので)全町を網羅し

た何かが出来ないか検討中である。

農協の担当課長会議後、協議の上

二月中に示したい。

住吉分館(住吉会館) 一月五日 34人出席

問 いこいの森について、今後

周辺を含めた観光的なものにど

う取り組むのか。

答 平成十二年にパークゴルフ場が

完成すれば事業は完了する。現在、

湯楽里、スキー場をどう結び付け

ていくか、カヌーなどダムの水の

使い方について、点でなく一体性

についてなど各種団体等の提案を

どう実施化していけるか検討して

いる。

問 民宿など宿泊等について、

町内の施設等の利用を検討した

らどうか。提案としてグリーン

ツーリズムのモデルケースとし

て実施したらどうか。

答 先進事例は、昔の蔵などの利

用がある。泊めることと、朝食を

提供することなどが、宿泊施設

となれば保健所の許可が必要とな

ってくる。ここでないければ食べら

れないというものもあるので、勉

強していきたい。

問 羽後向田館合線が遅々とし

て進まない。見通しはどうか。

答 事業種が変わり予算が止まっ

てしまっている状態。県も今厳し

い財政状況下であり、岩館バイパ

スが優先事業になっている。段階

を踏み、進められるものと思う。

問 中山間地の所得保障方式は

どうなっているのか。

答 今、大蔵省と農水省の協議が

なされており、二十分の一の要件

があり、検討中である。この後要

綱が示されるが十アール当たり二

万一千円だがかなり平均斜度の高

いところとなる。

問 そばの転作は興味深いが商

品化するためには集約化が必要。

行政の指導を。

答 今そばをやっている。とりあ

えず贈答品用に使ってみたい。新

聞に載ったこともあり、栽培希望

者も増えている。

問 町の体育施設や娯楽施設は

大方出来上がっているが、その

ほとんどが大人のもの。もっと

子供を対象にした施設を。

米減収に対応の考えは

▲法内分館座談会(1月5日・午前)



▲住吉分館座談会（1月5日・午後）

答 子供は大人の思うようには行かないものだが、ワンパク広場は保育園あたりでは期待している。今年湯楽里裏に少子化対策で遊具を設置する。

問 旧住吉小跡地にも子供を連れて遊びに来る人がいるが、遊具がほしいという要望がある。

答 必要なものは備えていく。

問 ボツメキは知らない人がいないくらい利用されている。刈った草が水路に詰まっていることがあるので手入れをしてほしい。

答 せっかくのよい場所なので何とかしたい。ボツメキ神社にぜひ鳥居を建ててほしい。（町ではやれないので）

問 時雨山く下小屋までの歩道に除雪の雪が押されて、スクールバス利用の子供たちの通行が出来ない状態。歩道除雪をして

もらえないか。

答 現体制では容易でない。停留する場所を決め教育委員会と話し合いをした方がよいと思う。

問 除雪の雪が側溝に入って詰まることがある。蓋をかけるなどして水路を利用出来るようにしてほしい。（石高地区）

答 流雪溝タイプでないとい容易でない。現場を見て対応したい。

問 向田線の方線はどうなっているのか。用地協力はすると言っているのだが。

答 上の方を行くことになっているが、現道幅と両方で議論しているところである。

問 仁賀保矢鳥館合線の進捗状況はどうなっているか。

答 町境が地滑り地であるため進展していない。県の方で考慮中。今はまず舗装してほしいと言っている。

蔵分館（大蔵館） 一月七日 37人出席

問 横渡の旧消防ポンプ機械置き場を、夏祭りなどの用具保管場所として利用させてもらえないか。

答 維持管理を地域でやるとすればよいと思う。今は普通財産管理になっているので、払い下げ申請をした方がよい。

問 岩館のイチヨウを見にくる人が増えているので駐車場を整備してほしい。

答 前から要望があり、土地所有者からは内諾を得ているが、岩館バイパス関係もあるので少し待ってはほしい。

問 大日向新一さんく阿部竹雄さんの所まで防護柵の設置を。また、路肩も下がって来ている。

答 前にも見えているが、消雪後また見てみる。防護柵は除雪の問題もある。

問 伊東健一郎さんくお寺に至る水路は雨が降ると畜産広場等からの鉄砲水が来る。古いU字溝でもよいので設置してほしい。

答 農業用水路だとすれば受益者負担ありの事業はあるが、地域排水路だとすれば発生資材を支給して地域でやつてもらっている。現場を見て確認したい。

問 洞門の橋たもとの街灯が暗くて困る。

答 毎年少しずつ増やしている。

問 畜産広場の駐車場が狭い。山を削ってもよいので、U字溝に蓋をするなどして整備した方がよい。

答 畜産広場は年一回だけの使用である。U字溝も落とし蓋のものではないかなりの工事になって

しまう。現場を見てみる。

問 農業用廃ビニール集積所がなくなつて困っている。

答 平成十一年度はJJAが二度回収している。集積場は設けない方針。

問 情報公開審査会とはどんなものか。

答 個人のプライバシーなどの情報公開について第三者的に判断してもらう組織である。

問 庁舎建設について、何らかの形でアンケートをとるなどして町民の意思を反映出来ないか。

答 議会とも議論しながら進めたいと思っているが、支所的役割を果たせればよいのでないか。分権・合併の時期であり、庁舎は事務所的なものでよいと考えている。町の顔は拠点施設でよいと思う。用地は十二年度に購入し、十三年度には建設まで進めたい。

問 庁舎は拠点の二次構想を含めた施設にし、町民が常にご利用できるようにしたい。

答 いろんなものが入れると思う。問 学校の児童数が増えている状況から学校も地域の象徴的な存在でなくなっている。今後の見通しは。

答 少子化は日本全国の問題。今年度の出生数も三十人位の見込み。



▲蔵分館座談会（1月7日・午前）

具体的には大琴小学校が一番の悩みだが四十人ぐらいまで頑張ればよいのでないか。いつ判断すべきか準備段階である。下郷分校も十三年度からの募集はなくなる見込みだ。少子化による影響が現実現れて来ている。

問 牛の値段はますますだが、北国と他との差が顕著だ。北国の種子が手に入らなくなる。種母牛をどうするのか、また、町には北国の配分はどれぐらいになるのか。

答 北国七の八は毎年少なくなつて来ている。まず保留対策を進めており、一二百頭位確保したいと考えている。来年度は集中的に保留

小学校の今後の見通しは

対策を行いたい。精液は多頭飼育者に優先配布ということで一月から実施している。

問 少子化現象で保育園も今のままでもいいのか。

答 保育園を統合してバスで通園するというのはどうかと思う。永慶保育園の場所も将来はもう少し広い場所がよいのではないかと思う。遊戯室も改築でなく、改修ということをやっても良かった。

玉米分館 (玉米会館) 一月七日 39人出席

問 下水道工事による町道と通路等の接点部分の段差(未整理分)を早急に修復してほしい。

答 今やっているのは仮舗装で、十二年度に完成するので少し待つてほしい。

問 農協スーパー跡地について、防火対策上小公園程度の利用に



▲玉米分館座談会(1月7日・午後)

止めてほしい。なお、当地は交通の要所であり、出入口など見通しなどに十分配慮した施設を。

答 地元議員と話を進めている。保育園に通じる道路だけは十二年度でやりたい。残った場所は記念碑も含めて雪捨ても出来る程度のものにした。

問 前田十字路から牡丹野橋までの流雪溝を設置してほしい。

答 下水道工事と合わせて思ったが、水の調整もあるので一緒にやれないということになっている。

問 湯楽里の経営内容について

答 五期目になって入浴者数が五十万人を超えた。経営はトントンまで行っていない。トータル的に九千万円近い赤字になっているが、債務超過にはなっていない。第三者からの指導も受けながら資料を整理中なのでそれを参考にしながら役割分担を決めて行きたい。

問 八塩公園の今後の開発、利用内容について。

答 町のみならず、秋田県、鳥海山観光の一環としてという思いもある。今年はおトキキャンプ場完成。十三年度のパークゴルフ場で完成し、ダムの整備も終わる。総合的な施設整備だと思っているので、秋の紅葉なども活用・宣伝していきたいし、冬の活用も考えたい。いろいろな使い方の出来る場所であると思っている。

問 家ノ下、下小路、館西住民

のための流雪溝を、早急に下水道工事の舗装前に整備してほしい。

答 流雪溝の水の関係者とも話し合い、調整を図りながら進めたい。

問 五海保の流雪溝に流れてくる上堰にバイパス除雪の雪が飛ばされて度々せき止められるので、蓋をつけてほしい。

答 トラック除雪に切り替えたがだめだった。蓋の情報も取っているがなかなか見つからない。注意しながら除雪したい。

問 国道一〇七号久保く板戸間の改修工事を早くやってほしい。

答 順調に事業展開している。トンネルは今年中に通れるようになると思う。次のトンネルが二次で、三次が久保方向となる。

問 久保橋付近に注意喚起する大きい標識や回転灯を取り付けてほしい。

答 今改良工事が進行中であり少し手が回らないところだが回転灯はいいと思う。

問 横手から来ると、館合に入る案内標識がないので設置してほしい。

答 現場を見て判断したい。

問 メタダレから来て新田を通る水路は、水も十分なので流雪溝としても利用出来るものと思

う。しかし、春先など水の多いときに活用出来ないもので、順調に流れるような水路に整備してほしい。

答 農業用水路は手を挙げたところは受益者負担があり(一五%)山振事業は完了日前である。流雪溝だとそれに合わせた全線改良が必要となる。すぐに結論は出せない。

問 町長は就任当時から「明るく元気の出る町」を標榜してきたが、新聞の報道によると、町債の多いのが県内三番目、一人当たり所得は六十一番目と低くなっている。

このような体質の中で元気の出る町が出来るだろうか。

答 町債にはいろいろな内容のものがある。五十四億中半分が良質債といわれる過疎債で、七割が交付税で見られる有利な起債である。

問 湯楽里に来て大広間が団体の貸し切りとなっており二階に上げられることがある。階段の上り下りは苦痛なので一階で休憩出来る場所の確保を。

答 入湯料金の単価では赤字要因となり、優先して宴会を取ってしまっている。一部屋増築提案はあ

八塩開発の状況はどうか



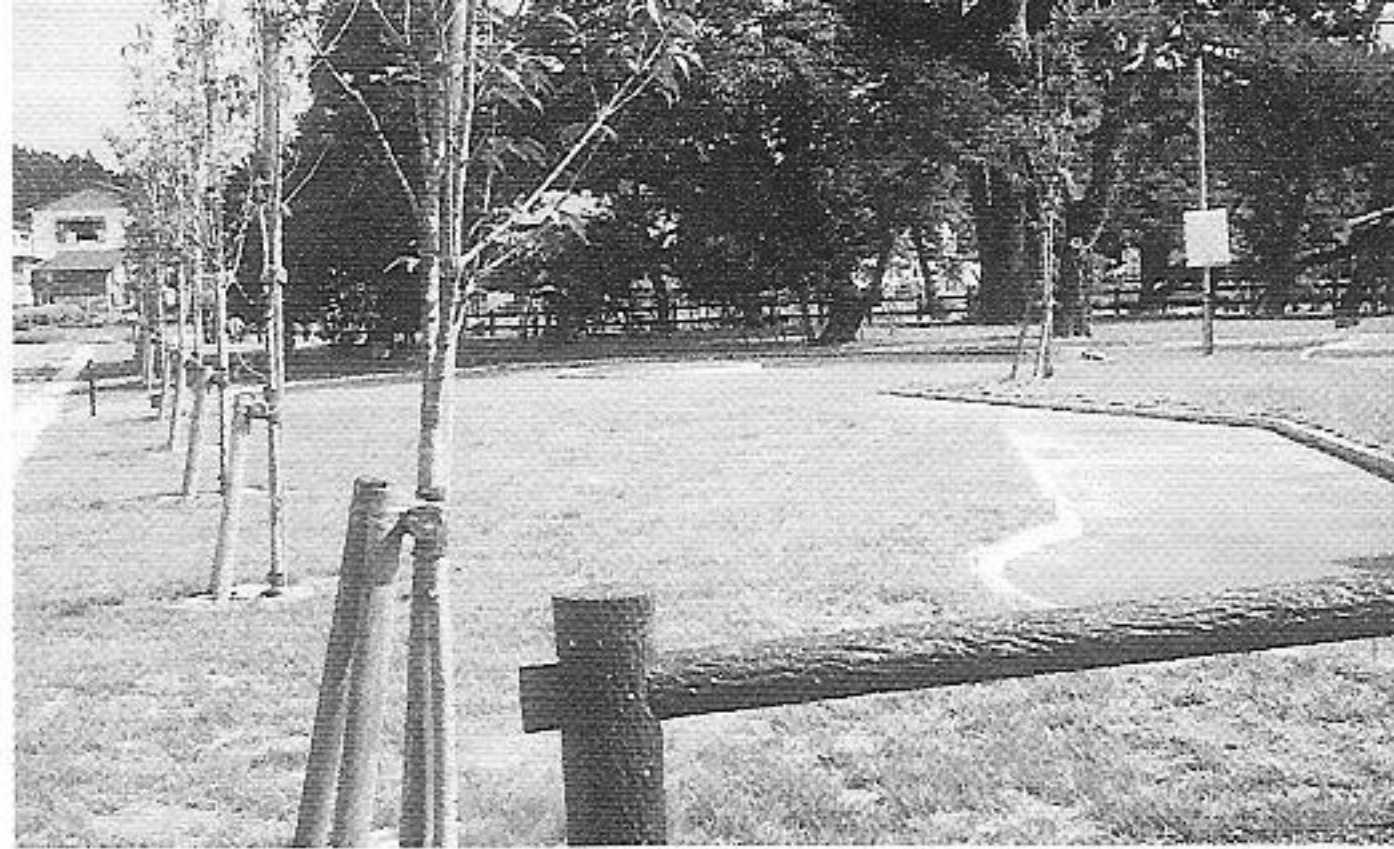
▲老方分館座談会(1月8日・午前)

る。五年も経過しているので、コンサルタントを入れて検討を進めている。

老方分館 (老方館) 一月八日 41人出席

問 大琴地区の分譲宅地の売れ具合はどうか、また分譲宅地計画の目的は何か。次の候補地はどの地域を考えているか。

答 大琴分譲宅地は今二戸建について、もう一箇所売れている。町外に出て行こうとするものを大琴に止めようとする考え。老方については、吉野団地の分譲はしないことにしており、それ以外のところに十区画ほどつくりたいと考え



▲老方の前堤公園

ている。

問 現在、少子高齢化とともに、年々人口が減少しているが、将来、密集地以外に居住している世帯を町内数箇所に集め、効率良い行政運営を考えてみてはどうか。

答 人口減少・高齢化が顕著である。今年も三十人位しか出生していないので減少することは間違いない。国では集落移転にあまり力を入れていない。町営住宅や分譲宅地の活用を図りたい。

問 前堤公園について、老方自治会と管理協定を結んでいると伺っているが、各自自治会に今一つ伝わっていないので、文書で各自自治会に通知を。

答 地区の皆さんの協力により地区公園として整備したものである。

経費については町で負担するが、草刈り程度はお願いしたいということ。自治会の方たちと協議をしている。四月になってから正式に締結したいが、自治会長が代わっても分かるような形で進めたい。

問 町営住宅入居者は新町地域に居住している期間だけでも自治会に加入するよう推進すべき。

答 町として入居時など指導してきた。しかし、職業の多様性などでなかなか加入の意思表示がな成果が得られなかった。また、奉仕作業にも出てもらえない実態等から新町自治会とは別に扱うということにしている。

問 農産加工所を個人使用させてもらえないか。

答 管理運用はJAにお願いする。一般町民が使える窓口は残してある。販売するものであれば保健所の許可の問題も出てくる。

問 警察駐在所を老方郵便局前に移転すると聞いているが、その理由は。

答 国道一〇七号沿いという本荘署の要望によるもので町としても協力している。

問 役場庁舎建設についてどの程度まで進んでいるか公開できないか。また、町民からアンケートをとるなどの考えは。

答 役場庁舎は建築してから四十五

年経過している。狭く電気容量が足りない現状であるし、建設したい。場所については町の中心が老方であるので老方だろうと考えている。特別委員会ではまだ進んでいない。

問 役場庁舎は国道沿いに建てるより、町中に建設してほしい。

答 建物を建てたら何か活性化につながるような場所がよい。老方が大きくなるための場所にとってもほしい。

問 下郷分校廃校の件はどうなっているか。

答 第五次高校の整備計画が出され、分校は基本的になくそうという考え方だ。平成十二年度の募集が最後になると思う。町外に出して子供を大きく育てるということも必要だと思ふ。

問 下水道の加入率が低い、町として何か対策は。

答 三十二億円をかけた大事業であり積極的に加入してほしい。あまり改造経費のかからない生活排水だけでもまずは接続するようにしてほしい。

問 下水道の加入率が低い、町として何か対策は。

答 三十二億円をかけた大事業であり積極的に加入してほしい。あまり改造経費のかからない生活排水だけでもまずは接続するようにしてほしい。

袖山分館（袖山館） 一月八日 15人出席

問 大袖水道の配水管は道路に埋められているが、町道として軟弱な面がある。さらに交通規制もされていないため

大型車がほとんど通行できるので昨年水道管が壊れる事態になった。



▲袖山分館座談会（1月8日・午後）

問 介護保険はある程度の年齢になれば強制加入になるのか。

答 四十歳以上が強制加入になる。

人事異動

一月一日付で町職員の人事異動が発令され、阿部幸悦町長が辞令を交付しました。

◆建設課

主幹兼課長兼管理係長

遠藤 信一

主席課長補佐

佐藤孝一郎

◆東光苑

施設長兼デイサービスセンタ

ー・介護支援センター所長

小松 慶悦

役場建設の進行状況は

評価に一喜一憂

平成十一年度

葉たばこ収納

一月二十四日から二十
六日まで増田町日本たば
こ葉たばこ取扱所で本町
分平成十一年度葉たばこ
収納作業が行われまし
た。収納は葉たばこ農家
にとって一年の締めくく
り。農家の皆さんが丹精
こめて育てた葉たばこだ
けに評価に一喜一憂して
いました。

町の葉たばこは米、和
牛に続く生産額が一億円
を超える主要作物の一つ
です。由利郡内で最も作
付け面積が多く、品質も

県レベルにおいて高い評価を
得ています。また、米の品質
に恵まれなかっただけに葉た
ばこの収納結果に関心が集ま
り、平成十一年度収納状況は
売上総額で一億三千三百万円
あまり、十アールあたりの代
金は四十六万六千六百四十九
円と昨年度を下回る結果とな
りましたが、一農家あたりの
売り上げは面積増等により伸
びています。

今年の葉たばこについて関
係者は「夏の異常な暑さでの
管理が品質を決定したよう
だ」と話していました。



▲1月25日の葉たばこ収納から

葉たばこ生産に貢献



▲喜びの小松さんご夫婦

一月二十四日、東京で平成十一
年度葉たばこ生産功労者感謝状贈
呈式が行われ、小松正武さん信子
さんご夫婦（高戸屋）が表彰を受
けました。これは日本たばこ産業

株式会社に対する多大な貢献が
認められたもので、本町で二組
目の受賞となります。
小松さんは現在百五十アールの
の葉たばこを作付けています
が、近所の農家二軒と共同で始
めた昭和四十九年当初は二十五
アールからのスタートだったと
いいます。水田の補完作物とし
て取り組んだものの、未知の作
目だけに品質管理などの問題
で、何度も壁に突き当たったと
のこと。「何度もくじけそうに
なったが仲間との励まし合い、
妻の内助の功などに助けられ
た」とひとこと。「これから
この表彰を励みに良質なものを
作りたい」と話してくれました。

町長日記

新春町政座談会

恒例の新春町政座談会が一月四
日から八日にかけて七地区で行なわ
れました。公民館分館が主催をして、
それに私をはじめ質問が多く出ると
予想される担当課長が出席させても
らうという形での地区の新年会を兼
ねた座談会ではありますが、今回も
いろいろと意見の交換が出来まし
た。

どこの会場でもまず冒頭に私か
ら新年のご挨拶をさせてもらいまし
た。昨年の出来事を中心に、まず第
五十回秋田県植樹祭では、一昨年に

町が日本さくらの会からいただいた
功労賞の副賞としていただいた五百
本の桜の苗木を植樹、うち百本が黄
桜であること、五年後十年後が楽し
みない財産の造成が出来たことを
感謝申し上げます。

県知事さんはじめ県議のみなさ
ん、六十九市町村からのご参加、そ
して町功労者各自治会、田代地区の
皆さんはじめ町内の多くの皆さんに
植樹してもらいました。そしてまた
東京東由利会はじめ各地の故郷会の
皆さんにもおいでいただき、本当に
いいお祭りにしていただきました。
天気にも恵まれ開会式でのステージ
から見る八塩山がすばらしかったこ
とも申し上げたところでした。
夏は二十七日間も続いた真夏日

でした。水不足の心配をしたので
が、八塩ダムの存在もあり、川がか
りの田圃にはその心配はありません
でした。東由利町のボツメキの水は
じめ、自然の懐の大きさに改めて感
謝したことでした。十分な暑さの夏
であり、当然出来秋を期待したので
ありましたが、特に自慢のあきたこ
まちにカメムシの異常発生がみられ
惨憺たる結果になりました。一等米
比率が二七％とこれまで聞いたこと
もない数字に驚きガツカリさせられ
たことでした。大幅減反が続く今年
こそと期待したのに本当にショック
なこと、事後対策に苦心したので
した。

十一月に東光苑の不幸事の発覚
がありました。五年間にもわたって
入所者の預金通帳から不正にお金
引き出されていたということとし
て。各金融機関の協力を頂き被害額
の把握そして弁済に向けての努力な
ど大変な事件でありました。本人は
もとより七人もの職員の管理・職務
責任を問う処分、そして私自身を始
め、助役の処分と大変なご心配をお
かけしたことを心からお詫びしたと
ころです。「今年はそれらいろいろ
な出来事を町づくりの大きなバネに
していい一年にして参りたい。益々
のご支援ご協力をお願い申し上げま
す」と、随分気合のかからない年頭
のご挨拶にもなったことでした。

各地区ともいろいろなご意見や
ご要望がありました。「これから予
算の時期にもなりますので議会とも
十分議論をしてその課題解決に向
けて努力をして参ります」と結び座談
会を終えたことでもあります。
そのあとは新年会ということに
なります。午前中開催となった地区
分館は大変やりにくいことでありま
すが、短期間に全地区で新年会をか
ねた座談会をするということであ
り、やむを得ないことでもあります。
いつも新年早々、町政座談会を主催
してくれまます分館の役員の皆さんに
は心からお礼を申し上げたところで
した。
今年は二十世紀の締めくくりに
一年、地区の皆さんにとっても町に
とっていい一年になりますように
心から祈念してそれぞれの会場を後
に致しました。

今年の無火災を祈願

平成12年 消防出初式

今年一年の無火災を祈願すべく、一月六日にげんき館で平成十二年消防出初式が行われ、畠山勉団長をはじめとする消防団員、婦人消防隊員、町関係者など二百余名が出席しました。今年は社会状況の変化に沿って初めての試みとして午後から式が行われました。出初式は消防に従事する者が正月に出揃い、無火災などを祈るものです。出席者は火災がない年にと誓いを新たにしました。



▲有功章を受ける三浦本部長



▲本部幹部の観閲

出初式はまず阿部幸悦町長による薬玉開放から始まり、その後本部幹部の観閲、秋田県知事、消防団長、阿部町長等が、勤続団員、模範団員の長年にわたる功績に対し、表彰状及び感謝状を贈呈しました。

引き続き阿部町長が昨年度の火災などの災害についてふれながら「団員の皆さんの力と存在の大きさを知った。災害はいつ起こるか分からない。一層の精進をお願いしたい」と告示を行いました。

また畠山団長が「地域住民の生命と財産を守ることが消防団の重要な役割。今後も研鑽を積んでほしい」と訓示しました。

受賞者を代表して二十年勤続表彰を受けた遠藤基第四団長の答辞では「団長を中心として更に一致団結、消防精神の高揚

に努め、町民の生命財産を災害から守るため精進を誓う」としていました。

式の最後は、一年間の無火災を祈願すべく出席者全員が万歳三唱を行いました。団員の皆さんは健康に気をつけ、町民財産を守るためがんばってほしいものです。



▲無火災を祈願すべく万歳三唱

表彰状・感謝状受賞者 (敬称略)

▼秋田県知事表彰

- 有功章
- ▼本部長 三浦良男
- 勤続章(十五年)
- ▼第二 団員 工藤一郎
- ▼第二 部長 遠藤信弘
- ▼第二 団員 小松幸男
- ▼第四 分団長 遠藤基

▼秋田県消防協会会長表彰

- 勤続章(十五年)
- ▼第五 班長 梅津正明
- ▼第五 団員 小野 栄
- ▼第五 団員 遠藤 久
- 勤続章(十年)
- ▼第一 班長 嶽石一人
- ▼第一 団員 佐藤幹夫
- ▼第二 班長 遠藤 正
- ▼第四 班長 遠藤五男
- ▼第四 団員 遠藤良徳
- ▼第五 団員 畠山春樹

▼東由利町長表彰

- 模範団員
- ▼本部長 阿部茂
- ▼本部長 長谷山栄
- ▼第一 団員 長谷山新一
- ▼第一 団員 畠山 昇
- ▼第一 団員 藤丸和幸
- ▼第一 団員 佐藤俊孝
- ▼第二 団員 菊地智也
- ▼第二 団員 古関金雄
- ▼第二 団員 古関英幸
- ▼第三 団員 畠山政雄
- ▼第三 団員 遠藤 晃
- ▼第四 団員 遠藤慶次
- ▼第五 団員 佐々木精人

▼東由利町消防団長表彰

- 甲種精勤章
- ▼第一 団員 小野 健
- ▼第一 団員 渡辺正人
- ▼第三 団員 小野昭美
- ▼第四 団員 阿部 忍
- ▼第四 団員 太田光弘
- ▼第五 団員 大庭宏尚
- ▼第五 団員 鈴木徳之
- 乙種精勤章
- ▼第一 団員 佐藤一裕
- ▼第一 団員 小野久隆
- ▼第二 団員 畑山忠弘
- ▼第二 団員 小野明春
- ▼第三 団員 小野 進
- ▼第三 団員 小野弘喜
- ▼第四 団員 大庭 司
- ▼第四 団員 太田久隆
- ▼第四 団員 工藤弘喜
- ▼第四 団員 大沼 聡
- ▼第五 団員 阿部樹悦
- ▼第五 団員 鈴木紀貴
- ▼第五 団員 大庭拓矢

▼東由利町長感謝状

- 退職団員
- ▼前分団長 斎藤真一
- ▼前分団長 小笠原慶悦
- ▼前分団長 佐々木徳昭
- ▼前部長 佐藤政雄
- ▼前部長 伊東一夫
- ▼前部長 佐藤徳定
- ▼前部長 小野源一
- ▼前部長 佐藤博之
- ▼前部長 佐々木栄
- ▼前部長 阿部淳一

■消防施設用地協力者

- ▼野田 遠藤雅晴

確定申告はお早めに

申告相談は二月十四日から始まります。申告は住みよい地域づくりのための貴重な財源となる町県民税・国民健康保険税を算定するときの重要な資料になります。また、本荘税務署での確定申告の受付は二月十六日から三月十五日（個人の消費税申告期限は三月三十一日）までとなっています。病気や高齢等で申告会場にどうしてもいけない場合、また申告のお問い合わせは、税務課（六六九―二二二）まで。

所得税の確定申告は2月14日から3月15日まで
個人事業者の消費税及び地方消費税は3月31日まで



A. 当日になって混乱しないように早めの準備を。おおもね次のような書類が必要です。【申告するすべての方は】

▼申告書▼印鑑▼生命保険料・個人年金保険料・損害保険料の支払証明書

Q. 申告が必要な人はどんな人ですか？
A. 申告が必要な方は①平成十二年一月一日現在、東由利町に住所のある方で、平成十一年中に所得（収入）があった方。②給与所得及び雑所得（公的年金など）のある方で、それ以外に営業、農業、不動産（家賃、小作料など）の所得があった方などです。

Q. どんな書類が必要でしょうか？
A. 当日になって混乱しないように早めの準備を。おおもね次のような書類が必要です。【申告するすべての方は】

書▼医療費の領収書（寝たきりで医師が交付した「おむつ使用証明書」のある方はおむつ代も含まれます）▼住宅特別控除を受けている方（金融機関で発行する残高証明書と税務署より送付されている住宅取得等特別控除証明書）

子証明書（J-Aで発行）など
【営業所得のある方は】
▼収入・支出の明細がわかる帳簿や関係書類
【大工・左官及び日雇いの方は】
▼年間の稼働日数証明書（月別仕事先と賃金の明細）▼大工・左官で請負仕事の場合は①機械・器具（道具）の購入または修理の領収書②事業用自動車の売買契約及び燃料費・修理費・税金（自動車税・重量税）・車検料の領収書③請負工事ごとの損益計算書④全国建設工事業国保の保険料領収書など

【譲渡所得のある方は】
土地・建物などを売った場合
▼譲渡した物件にかかる売買契約書、または売買価格の証明できる書類▼譲渡費用（仲介手数料・測量費など）の領収書▼登記済みの場合は登記簿など

平成12年申告相談日程表

			午前（受付9時～11時）		午後（受付1時～3時）	
月	日	曜	自治会名	申告会場	自治会名	申告会場
2	14	月			沼、杉森	杉森会館
	15	火	船木、畑村、奥ヶ沢、大台	高瀬館	高屋、土場沢、宿、下吹	高瀬館
	16	水	大琴（上）	高瀬館	大琴（下）	高瀬館
	17	木	中ノ沢、高村、桂台	克雪センター	小倉	克雪センター
	18	金	十二ノ前	克雪センター	野田、新処	克雪センター
	21	月	横渡、島	大蔵館	蔵、黒沢	大蔵館
	22	火	岩館、宮ノ前	大蔵館	蔵新田	大蔵館
	23	水	寺田、茂沢、祝沢	役場	湯出野、上里	役場
	24	木	下通	役場	横小路、上通、中通	役場
	25	金	新町1～3組	役場	新町4～7組	役場
	28	月	家ノ下、八日町	玉米会館	宇戸坂、館西、五海保	玉米会館
	29	火	下小路、新沢、松柴	玉米会館	山崎、久保、板戸	玉米会館
3	1	水	須郷田、館合新田（上）	玉米会館	館合新田（中、下）、跡見坂	玉米会館
	2	木	泡ノ淵	八塩館	向田、智者鶴	八塩館
	3	金	黒淵	八塩館	地下ノ沢、葎沢	八塩館
	6	月	袖山	袖山館	大吹川、須郷	袖山館
	7	火	石高	田代福祉館	田代	田代福祉館
	8	水	高戸屋、下小屋、時雨山	田代福祉館		
	9	木	収支対象者、その他	有鄰館	収支対象者、その他	有鄰館
	10	金		有鄰館		有鄰館

◆介護保険の財源

保険料 50%		公費 50%	
65歳以上の人の保険料	17%	市区町村の負担金	12.5%
40歳以上65歳未満の人の保険料	33%	都道府県の負担金	12.5%
		国の負担金	25%

+

利用者の自己負担金

75歳以上の後期高齢者の比率が高い市区町村や、所得が全国平均よりも低い水準にある市区町村についても、介護保険の財源が不足するということがないよう、調整交付金で格差が調整されます。

介護保険情報

第七回

介護保険の財源

財源はわたしたちの保険料と公費



65歳以上の人(第1号被保険者)の保険料

保険料の決まり方

まず、住んでいる市区町村の介護サービスの水準に応じて基準額が決まります。その上で、負担が重くなりすぎないように所得段階に応じて調整されます。



保険料の納め方

保険料は原則として年金から納めます。年金額によって納め方は2種類に分かれています。

$$\text{基準額 (月額)} = \frac{\text{各市区町村の介護サービス総費用のうち第1号被保険者負担分}}{\text{各市区町村の第1号被保険者数}} \div 12 \text{ か月}$$

生活保護の受給者、老齢福祉年金の受給者で住民税世帯非課税	基準額×0.5
世帯全員が住民税非課税	基準額×0.75
本人が住民税非課税	基準額
本人が住民税課税で合計所得金額が250万円未満	基準額×1.25
本人が住民税課税で合計所得金額が250万円以上	基準額×1.5

※保険料は介護保険事業計画の見直しに応じて3年ごとに設定されます。
※市区町村により保険料率や段階は異なることがあります。

特別徴収

年金月額
1万5,000円以上の人
年金の定期支払い(年6回)の際に、介護保険料があらかじめ差し引かれます。

普通徴収

年金月額
1万5,000円未満の人
送付される納付書にもとづき、介護保険料を市区町村に個別に納めます。

40歳以上65歳未満の人(第2号被保険者)の保険料

保険料の決まり方と納め方

加入している医療保険の算定方法により決まり、医療保険料と一括して納めます。

●国民健康保険に加入している人

介護保険料は、国民健康保険税(料)の算定方法と同様に世帯ごとに算定され、国民健康保険税(料)の介護保険分として、一括して世帯主が納めます。なお、保険料と同額の国庫負担があります。

※市区町村によって組み合わせは異なります。
※介護保険料と国民健康保険税(料)の賦課標準額は別々に決められます。
※国保組合の保険料の計算方法は規約により定められます。



所得割 第2号被保険者の所得に応じて計算

+

均等割 世帯の第2号被保険者数に応じて計算

+

平等割 第2号被保険者の属する世帯で1世帯につきいくらか計算

+

資産割 第2号被保険者の資産に応じて計算

●職場の医療保険に加入している人

介護保険料は、給与(標準報酬月額)と各医療保険ごとに設定される介護保険料率に応じて算定され、医療保険料の介護保険分として給与から一括して納めます。なお、原則として保険料の半分は事業主が負担します。

介護保険の費用のうち33%を第2号被保険者全体で負担します

①健康保険組合など各医療保険者に振り分けられる負担額(介護給付費納付金)が決まります。

②①を40歳以上65歳未満の被保険者全員の標準報酬総額で割り、介護保険料率が決まります。

③標準報酬月額に介護保険料率をかけたものが、各被保険者の介護保険料となります。

$$\text{第2号被保険者1人あたりの負担額} \times \text{各医療保険の40歳以上65歳未満の被保険者と被扶養者の人数} = \text{介護給付費納付金}$$

$$\text{介護給付費納付金} \div \text{40歳以上65歳未満の被保険者全員の標準報酬総額} = \text{介護保険料率}$$

$$\text{標準報酬月額} \times \text{介護保険料率} = \text{介護保険料}$$

保険料はいつから納めるのか

介護保険の保険料は、被保険者となった月(第1号被保険者は65歳到達月、第2号被保険者は40歳到達月)の分から納めます。到達月とは、誕生日の前日の属する月をさします。

※ただし特別措置として、平成12年4月から9月までの第1号被保険者保険料は全額を国が負担、平成12年10月から平成13年9月までの1年間は、半額を国が負担する経過措置が講じられる予定です。第2号被保険者については各医療保険者の状況に応じて財政支援が行われる予定です。

ご存じですか老人保健

老人保健で医療が始まるのは70歳の誕生日の翌月から(誕生日が一日の人はその月から)となります。寝たきりなど一定の障害があり、町長の認定を受けた人は、65歳から老人保健での医療が始まります。この場合も、医療の開始は認定を受けた日の翌月から(認定を受けた日が一日ならその月から)となります。

老人保健になって変わるののは老人保健で医療を受けるようになります。町民課国保係(☎六九二二二七)に、通知してあります。詳しいことは担当まで。

続・畜魂

～つれづれの記 第9話「和牛改良組合 コンクールの応援」

鈴木龍太郎・文

牛肉の国際競争に勝ち、消費者に美味、安全、安価な牛肉を提供するため頑張っている和牛飼育農家にとって牛の改良は一番大切であるが、個人の努力だけでは不可能に近い。そこで集団の力で地域の和牛を改良し、畜産経営を安定させようとする

和牛改良組合が全国で約六百十組合ある。

そのなかの模範的組合がその活動状況を発表する「和牛生産集団組織コンクール」(ナント長い名前ダコト)が毎年開かれているが、平成七年二月三日京都で開催された大会に東由利町和牛改良組合が選抜され代表の佐々木善一郎氏が発表することになった。

④研修・見学

組合として名誉であり、またこのような機会には滅多にないので、育種組合東由利支部(当時支部長佐藤謙一氏)が主体となり研修兼応援団を募ったところ二十数名の方々が集まった。

⑤夜行列車から会場迄

阿部幸悦町長を団長とする一行は佐藤和広氏(当時役場畜産係)と須田清隆氏(農協)に先導され二月二日の寒い夜、本荘駅で寝台

列車に乗り込み京都を目指した。さして乗車したのが皆さんには眠れない。雑談しているうち何処からともなく酒、ビールが出てきた。私も少しづつなめるようにしていたら誰かに「酒はぐつと飲むものだ、サー、飲め」と几帳面な気合を入れられた。そこで「俺は酔つと酒癖が悪くなるがそれでもいいか」と答えた。そばにいた梅津栄一氏(現議会議長)や遠藤忠平氏(当時議会議務委員長)たちに「それでは飲ませられない」「うまい断り方もあるものだ」と笑われたり、からかわれたりして早々に寝台に潜り込んだ。

翌朝下車した京都駅は改装工事中で私の想像していた静かな京都の駅とはかなり違う雑多な様子に落胆した。

だが駅前で朝食をすませ、高層広大な東本願寺を左に見ながら歩いて会場(大谷ホール)に到着し、別行動で来た主役の佐々木善一郎氏と善水氏、出稼先より駆けつけた鈴木博氏と佐藤謙一氏たちに合流したら気分も晴れ元氣も出てきた。

⑥コンクール

コンクールには七組合が出場し「なるほど」「さすが」と感心させられる内容が次々と披露された。

わが町は五番目に大勢の人々に注目されながら「山間地における由利牛の里を目指して」の標語で登場し、最初に役場の佐藤孝一郎氏が町と農業の現状を、ついで佐々木善一郎氏が組合組織と活動、牛の改良と子牛生産、今後の対策などをスライ

ドを利用して説明した。二人とも堂々と歯切れよくわかり易い話で、質問にも簡潔に答え、大きな拍手をうけて降壇した。

全発表終了後の審査委員長講評では「東由利はよく組織活動し地道に改良と増殖に取り組んでいる。頑張つてほしい」と激励され、優秀賞に輝いた。なおこの発表には町外の協力もあり、特に草薙隆雄氏(当時由利農林事務所主査)と斎藤修氏(現JA畜産課長補佐)の尽力は多大であった。

⑦研修・見学

大会終了後和牛の総本山とも言われる全和牛登録協会を見学したが、時代を先取りして登録が既に機械化されていたのには感心させられた。

また、残余の時間で市内見学もした。しかし、当日の日記に「京都市内見学。たいしたものだ」と一行だけ書いてあるが、なにがたいしたものだったのか今はわからない。ただ嵐山周辺の自由散策のとき、渡月橋袂にあるお寺の「石庭」を見学に入ったら和広氏もおり失礼ながら「若いのにこのような趣味があるとは・・・」といささか辟目した覚えがある。



林業だより

間伐材の利用促進

先月号で述べた美しい森林を造成するには、スギの間伐推進が緊急な課題です。しかし、スギ小径間伐木は収入につながらないことから間伐しない林が多く、また、間伐しても間伐材が林内に放置されています。今、全国各地で間伐材の需要拡大と間伐の推進を図ろうと治山事業や河川工事等の公共事業における間伐材利用開発の研究や間伐材を利用した土木工事が始まっています。

その実施事例を見ますと、木製の小型治山ダム、林道の木製柵工による盛土保護、治山山腹工事におけるコンクリート構造物代替による山腹工、林道側溝保護工、林道の法面保護工、河川の木製護岸工、半割にした間伐材を横木に使用した海岸の防風柵、丸棒加工した間伐材をカゴ状に組み立て玉石を詰めた河川の水制工などです。

木材が地球環境や生活環境に優しい土木資材として利用拡大される事を期待したい。

(町林業懇話会会長 佐藤恒悦氏)



チャイルドシートの使用義務化<警察庁>

平成12年4月1日から、自動車の運転者はチャイルドシートを使用しない6歳未満の幼児を同乗させてはならないこととされ、違反者には基礎点数1点が付されることとなります。

径 級	単価 (石)	備 考
24~28 cm	4,600円	
24~28 cm	5,000円	乾燥材
14~22 cm	4,400円	
14~22 cm	4,800円	乾燥材
曲り材	-	

大量の乾燥材、高樹齢材の出品で岩手、山形の県外勢を含めほぼ全県より28名もの参加を得て盛大な市となった。目玉はやはり乾燥材で好値が続出。それに引っ張られるように普通材も前回より値を上げた。

木材共販市況

(平成十二年一月・平均価格)
四五年生から五五年生

秋田から南半球の大陸へ



四町村海外合同研修（オーストラリア）報告

東由利、大内、南外、千畑の海外合同研修が11月17日から23日までの一週間の日程で行われました。今回の研修に参加したのは18人（本町男女7人）。それぞれが日常とは違う異国の雰囲気を十分に味わっていたようです。団長を含めこの研修に参加した4団員のレポートを紹介（一部抜粋）します。

「海外研修に参加して」

長谷山久志

平成十一年十一月十七日、この冬の空からの白い使者たちの手荒い見送りを受け、オーストラリアのシドニーへと旅立ちました。

日本を真つすぐに南下し、飛行機での約九時間の所に位置し、時差は一時ですが現在サマータイム実施中で二時間の時差でした。

シドニーに到着すると早速市内見学でミセスマッコリーズチェアという石を削って作ったイスや、ハーバーブリッジをバックにしたオペラハウスの白い建物を実際の目の前にすると、確かに自分は日本と違う異国の地に立っているという実感が湧いてきました。

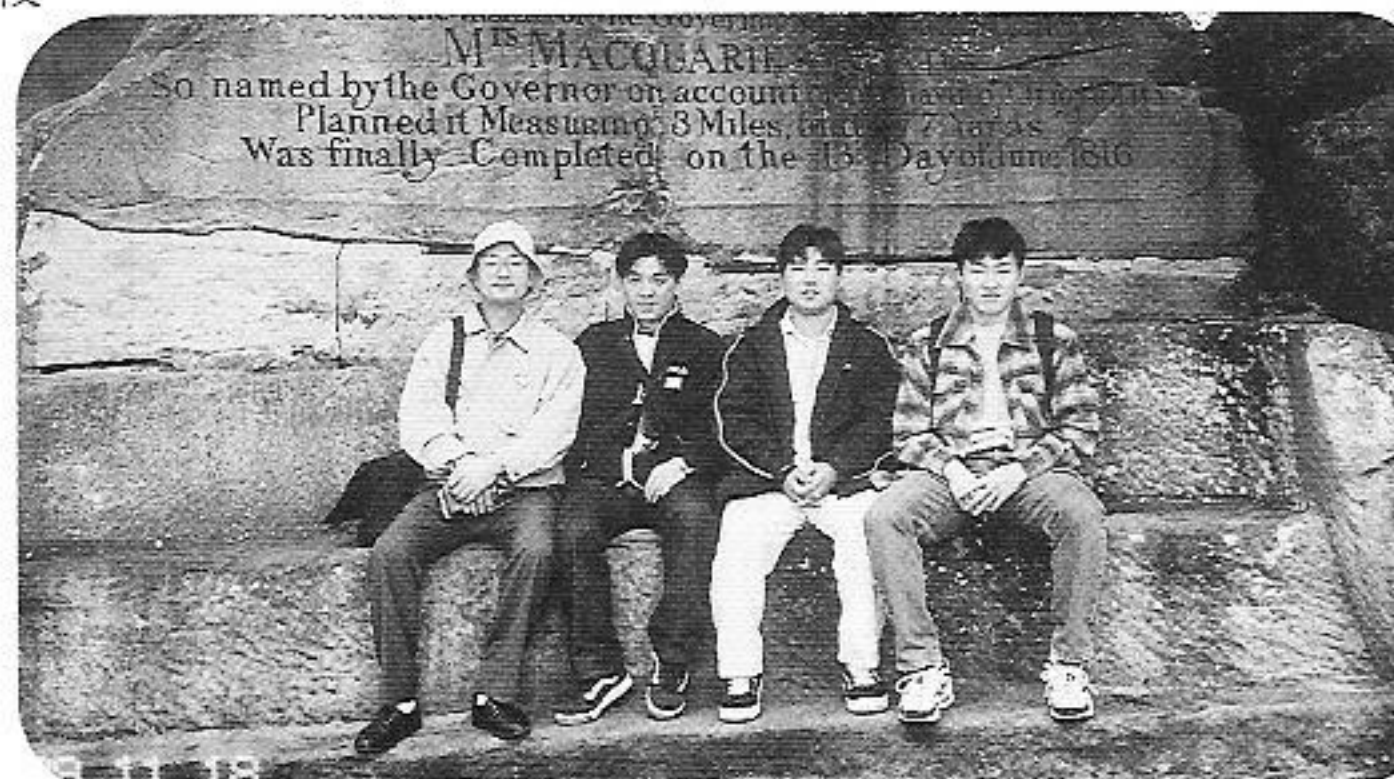
フレミントン卸売市場は、シドニーの西側に位置し市内から十五分、空港からも三十分という申し分のない位置に四十一ヘクタールという広大な敷地を要し、五千人の従業員が働いているとの説明でした。建設当初は大きな感じがしたが、現在ではそれでも手狭になっているとのことでした。この青果市場は交通の便を生かし輸出入の拠点にもなっていました。想像を絶する広さと取扱量の多さには、ただただ驚くば

かりでした。建物の屋根には南国特有の強い紫外線や雨から青果を守るためのカバーも取り付けられていました。金、土、日には市場が終了した十時からフリーマーケットが開かれるとのこと、たまたま私たちが訪れた時も個人個人が区間使用料を支払って様々な品物を扱って商売を行っていました。この日も沢山の買い物客で大盛況でした。

オーストラリアの食も体験してきました。ステーキがメインでしたが味はいいものでした。向こうでは牛肉の値段

も安く常時食べているのですが、やはりおいしいという点ではわが町の牛に勝るものはないと確信してきました。また話の種にと、ワニ、カンガルー、エミュー（ダチョウにつぐ大きな鳥）、水牛の四種類の肉も食してきましたが、勧められた場合には遠慮した方が無難かと思いました。やはり食べ物には日本食が一番としみじみと感じてきました。

頭の中でオーストラリアドルを円に懸命に換算しながらのショッピング。早朝の海岸を散歩中に波にさらわれかっぱをとってホテルまで素足で歩いて帰った人、現地二日目にして腹の調子を崩し胃腸薬の世話になった人、夜のカジノで大当たりし、その晩から女王様と呼ばれる羽目になった娘さん、カンガルーの皮に身



▲ミセスマッコリーズチェアにて

を包み、茶目つ気たつぷりの三人かしまし娘。本当にあつという間の楽しく充実した一週間でした。

今回初めて千畑町も加わり、大内町、南外村、東由利町と四町村合同の海外研修でもあり他町村との仲間との交流もしつかりと行っていました。

私にとっていままで海外は夢の世界でしたが、今回町のこの企画に参加したことで正夢となりました。個人ではなかなか実現できない海外体験も、容易に実現してしまいました。

皆さんもぜひこの制度を利用して海外を体験し、他国の文化や食に触れることで見聞を広げ、そこから再度故郷東由利を見つめ直すことができれば、この研修を企画してくれた町への最高のお返しになるのではないのでしょうか。

海外から町見つめ直す

「海外研修に参加して」

阿部美保子

海外研修には以前から参加してみたいと思っていましたが、いろいろな諸事情と、思い切ることができずあきらめていました。今回はもう終わりかも知れないという気持ちで思いきって申し込みました。参加申し込みをしてからは、もう子供のようにあと何日で出発だと、一人二ヤニヤしながら指折り数えて待っていました。もちろん海外は初めてで、少々の不安もありましたが、楽しみの方が多く、少しばかりの不安はかけらもなくなくなっていました。

いよいよ出発の日。秋田空港から羽田空港、成田空港へと。そしてカントス航空へ乗り込んで客室乗務員の方を見たとき海外研修なんだと変なところで感激して実感しました。機内はせまく三列シートなので手洗いに立とうとするたび窓側の私は隣の二人に席を立ててもらわなければならず不便でした。夜ということもあって、休んでいる人を起こすのは本当に申し訳なかったです。足の短い私でさえ窮屈なので、あっち向いたり、こっち向いたりしながらの九時間。シドニー空港へ着いた時、靴をぬいでいた私は足がむくんで靴に入らずびっくりでした。ちなみに帰りは日中のフライトでしたから大丈夫でした。

卸売市場の広さに驚き

空港を出るとバスでの市内観光でした。ミセスマッコーリーから青い海と白いオペラハウス、そしてその向こうにアーチを描くハーバーブリッジ。まるで絵ハガキのようなシドニー湾の風景は本当に美しいという言葉がぴったりでした。

次の日の研修目的のフレミントン卸売市場は、とにかく広い。倉庫が大きく数もある。野菜や果物は山のように積まれ、これが一日、二日のうち入れかわり売れていくのかと思うとすごい。バナナ市場は収納・保存・熟成・販売のため十八個のモジュールが設置されていて、アボガド、キウイ、トマトなどの熟成にも利用されていました。

市場で大内町の佐々木さんがイチゴとアメリカンチェリーを買い、それをごちそうになりました。イチゴは大きい分、味も大味だったように

思いました。チェリーはとてもおいしかったです。

いろいろ見学した所もそうですが、旅行中皆さんと過ごした時間、一生忘れられない思い出がたくさんできて本当によかったと思います。

「海外研修を終えて」

佐藤真由美

オーストラリアは、私にとって特別思い出深い国です。というのは、高校二年生の夏休みに、ホームステイで初めて訪れた海外なのです。今回、十年ぶりにオーストラリアの地を踏むことができ、大変うれしく思っています。

私は、この研修に多くの人のからの応募があり、参加するのは難しいのではないかと感じていましたが、定員人数に満たなかった事を知り、驚きました。仕事を持っていると一週間休みを取るということは大変難しい事はよく分かりますが、海外へ行くという事はお遊びだけではなく、言葉では表せない何かを与えてくれるものと私は思っています。海外に行かないからといって、生活できないような事はありますが、人間は考えたり感動したり、経験し、学習できる動物なのですから、人生八十年でできる限り人間らしく生きていけたらと思うのです。

井の中の蛙ではいけません。せっかく東田利町に「海外研修」という素晴らしい企画があるのですか

ら、多くの町民の方が参加できればと思います。

東田利町は山々にかこまれた、小さい町で海外、英語教育とは無縁、もしくは必要ないと思いがちですが、小さな町だからこそ出来る、いきとどいた指導が可能だと思うのです。私が中学校のころは、ネイティブの先生の英語の授業はなかったのですが、現在は東田利町に滞在し、保育園、小、中学校で生きた英語を学ぶことができ、うらやましく思うと同時に、すばらしい事だと思うのです。十代のころの経験は、人生そのものに反映する事が多いですから、町でバックアップして、海外渡航、ホームステイ、留学のチャンスを広げることを考えていただければ幸いです。

今回の研修の中で、卸売市場やゴミ処理場の見学がありましたが、印象深いのは、ゴミ処理場です。ゴミ問題は現在各国で頭を悩ませている事のひとつでしょう。オーストラリアでは、ゴミは一切燃やさないという事でした。これは、ダイオキシン対策のためというのは察しがつくことです。

巨大な穴を掘り、底には粘土層の土を敷いて、そこより下の土壌に汚泥などが流れないようにして、ゴミを捨てる、また匂いを防ぐためと、風でゴミクズが飛ばされないように、一日の終わりに土をかぶせるのが通常の処理方法のようでした。

印象残る海外ゴミ処理

穴がいっぱいになると、さらに土をかぶせ木や芝生を植えて、自然に戻してゴルフ場に生まれ変わるとのことでした。たしかにすでに一面きれいな芝に覆われて、とてもその下にゴミが埋まっているとは想像もつかない場所もありました。ただ、ゴミから発生するメタンガスが燃えていることが下にはゴミがある事を物語っていました。現在、このガスを利用して発電システムを研究中でその日も近いことを所長さんが説明してくれました。

オーストラリアでのゴミの分別収集はまだ最近らしく、ドイツのように徹底されているとは言えないものでした。

ゴミを埋め、どんなに見た目を自然同様にしても限度というものがあられると思います。やはり「ゴミを出さない」という事が一番です。どうしても出てしまうゴミは、どのようにリサイクルし、どんなものに再生可能なのかも、個人個人がもつと知るべきです。

ゴミ処理場へゴミが到着してからでは遅いのです。家庭からゴミとして出る時にきちんと分別されていないければすべてがただのゴミ。資源ゴミやアルミ、ペットボトルなど再生率の高いものは、百パーセント再生されるべきです。

そして生ゴミなどは土へ返して、豊かな土壌を二十一世紀へ残すべ



▲オペラハウスを背にして記念撮影



▲研修最終地のバナナ園でノエルじいさんと

までの自由時間に軽い食事などを取り空港内をうろろしている、前日までバレーボールのワールドカップに出ていたブラジル女子の代表選手を見つけた記念写真を撮ってもらい出発前からお土産話ができた。午後八時三十分、いよいよ初めての海外へ飛行機が飛び立った。夜のフライトだったため外の景色は見られず残念だったし、なかなか眠れず何回も目が覚めた。

きで、ゴミの埋まった土地は問題外です。そうしなければ、地球上はゴミであふれかえるのではという恐怖心さえ生まれました。

東田利町もゴミの分別収集が始まります。まだ自然が多いし、めんどろくさい事と馬鹿にせず、ゴミに対する一人一人の意識を高めゴミの少ない東田利町を目指してほしいと思います。

「四町村合同海外研修」

阿部正輝

十一月十七日から二十三日までの一週間は他町村の仲間ができたことと、外国の文化などを知り、とてもよい一週間だったと思う。

十一月十七日午後一時。秋田を飛び立ち羽田へ向かい、羽田からはバスに乗り成田空港へ向かった。成田空港までの間に添乗員にうれしい説明を聞きながらいよいよ出発かとドキドキしていた。説明も終わり出発

たままの施設内見学だった。リサイクルできる物とできない物を分別したり、植木などの木材などを細かくして処理していた。持ち込みのゴミは分別している物としていない物では引取料がだいぶ違っていた。その施設の埋め立て用の穴の大きさにはとても驚いた。

次の日、シドニーからブリスベンへ移動、コアラの保護区の見学をした。コアラも実際に見たのは初めてだったし、コアラを抱いての記念写真もとてもいい思い出になった。時間が少なくすべての動物を見ることはできなかったのが残念だった。ゴールドコーストへ移動し、その日の夜は週末だったため若い人が大勢夜が明けるまで外でさわいでいた。次の日の朝、浜辺へ散歩に出かけると、路上にはすごいゴミが散乱している、浜辺には酔いつぶれて寝ている人がいたり、きれいなゴールドコーストのイメージと違っていた。

現地での最終見学のバナナ園では、ノエルじいさんと話しながら紅茶とケーキをいただいた。バナナの木を初めて見たし、いろんな種類のバナナを植えているので年間を通して収穫できるとのことだった。

最後に、ガイドの話では、オーストラリアは世界一の福祉国家でゼいたくさえしなれば国の保護で生活できると言っていたので日本では絶対に考えられないことだと思っただ。初めての海外はとても楽しい経験ができたと思います。

海外文化知る一週間

久しぶりの再会に笑顔

在京宿小会

昨年十一月二十三日、東京都北区滝野川会館で第十一回在京宿小会が行われ、一都四県から六十八人が出席、久しぶりの再会を喜び合いました。

平成元年に旧宿小学校出身者が中心になり発足したこの会、昨年の結成十周年を一区切りにさらなる発展を目指すべく今回

役員の改選が行われました。

総会では佐々木明夫新会長より出席のお礼と今後の運営方針、新役員紹介が行われ、来賓として出席した阿部幸悦町長、佐藤東京東由利会副会長より会の発展を祈念するあいさつがそれぞれありました。

懇親会では久しぶりに会った同級生や初顔合わせなどが会場のあちこちで見られ、笑顔があふれていました。またアトラクションとしてカラオケが行われ、大いに盛り上がりつつありました。

閉会後、出席者の皆さんは来年の再会とお互いの健康を祈りながら会場を後にしていました。

同会では大琴小学校卒業生の参加を呼びかけています。連絡は畑山良造幹事長まで（☎〇三―三八三八―二九三八）

新役員（敬称略）

会長 佐々木明夫
幹事長 畑山 良造
顧問 小笠原精治
佐々木義勝



▲出席者一同による記念撮影



▲昨年度に引き続き優勝したミルキーの皆さん

家庭バレーボール交流大会

「冬期間の運動不足解消とメンバー間の交流を」と毎年開催されている家庭バレーボール交流大会。昨年十二月一日より毎週月曜日に健康増進センターで町内八チームが熱戦を繰り広げましたが、一月十三日に全日程を終了、昨年に引き続きミルキーが優勝を飾りました。また準優勝に蔵スーパレディース、三位にギャルズがそれぞれ入賞しました。

冬期間は運動不足になりがちですが、参加者たちは十分に冬のスポーツを楽しんでいました。

冬の運動不足を解消



▲なまはげと一緒に記念撮影

迫力満点 本場なまはげ

蔵むらの冬まつりっコ

一月三十日、大蔵館で「第二十三回蔵むらの冬まつりっコ」が行われた。蔵むらの家族連れ、子どもたちで賑わいました。

この冬まつりは蔵分館が毎年冬を楽しもうと行っている年中行事。当日はたこあげと正月の遊び、もちつき大会、紙芝居などをはじめ、劇仕立てのなまはげ実演会が行われました。なまはげは本場男鹿半島からやってきた本物で、迫力は満点。子どもたちは怖がりながらも冬の名物に親しんでいました。



▲熱心に研修報告を聞く皆さん

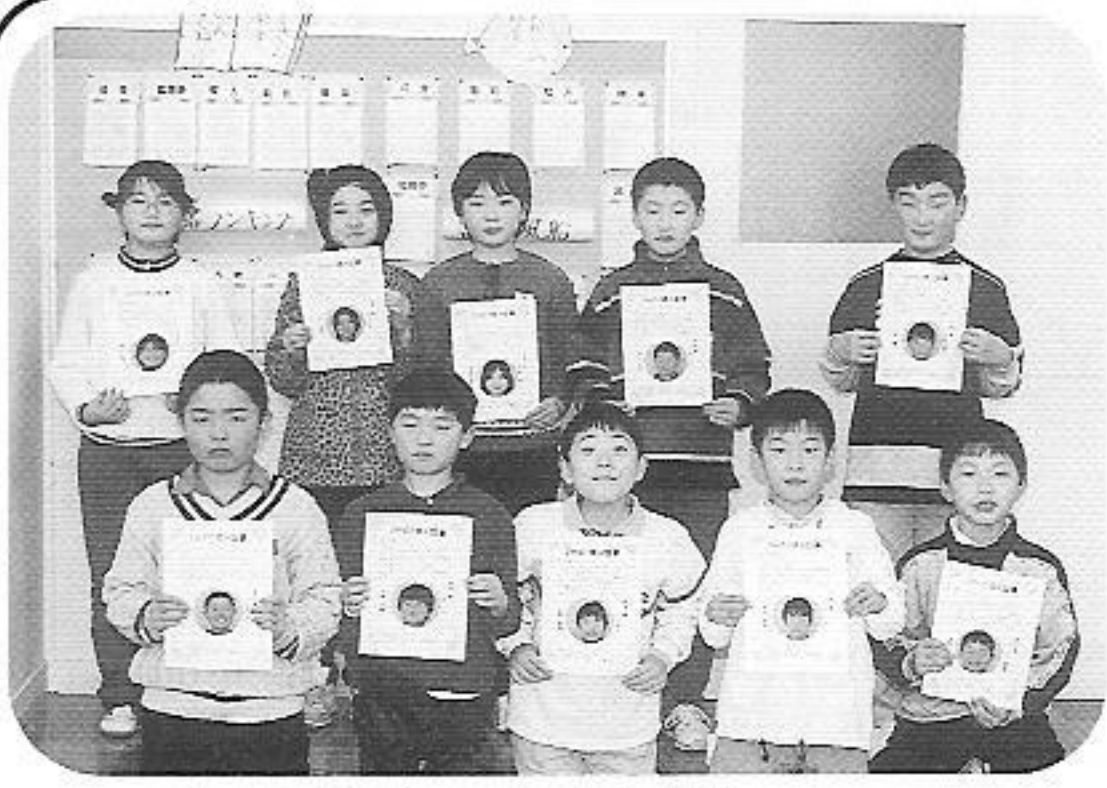
ことぶき大学学会発表会

一月二十六日、有鄰館でことぶき大学が行われ八十余名が出席、昨年実施されたオーストラリア海外研修の発表を楽しみました。

研修に参加した団員二名による報告を始め、ビデオ、写真、お土産閲覧などを中心にした盛りだくさんな約一時間半の学芸発表に、出席した皆さんは聞き入っていました。

今冬は暖冬とはいえないものの、寒い日が続いています。出席者の皆さんは北半球とは季節が逆の国、オーストラリアに思いをはせていました。

南半球に思いはせる



▲1/2成人児童全員で記念撮影

夢と希望を語る

大琴小二分の一人式

一月十五日、大琴小で二分の一人式が行われ、全校児童が見守る中、該当する四年生の児童十名に写真入りの証書が手渡されました。

この成人式は誕生してから十年、心身ともに健やかに成長してきたことを喜ぶとともに、これからの児童たちの活躍を願う式で、大琴小では毎年行われている行事の一つです。

証書贈呈後には児童一人一人が自分の夢や希望を堂々と発表しました。二十歳の成人式までの十年、子どもたちの頑張りが期待されます。

東由利文化クラブ

虫歯
なんてない
も〜ん。

2歳児健診
()内は保護者

三浦直也くん

田代(雅弘さん)

嶺石聖光くん

八日町(嘉規さん)

石綿莉沙ちゃん

横渡(工さん)

横山峻太くん

向田(慶和さん)

小松実莉ちゃん

宇戸坂(淳さん)



太田聖也くん
蔵(久隆さん)



佐藤春香ちゃん
下通(博之さん)

1歳6カ月児健診
()内は保護者

永年勤続に評価

全国老人クラブ連合会会長表彰



▲喜びの佐藤文一さん

昨年長野市で行われた全国老人クラブ大会において、同クラブ連合会会長より東由利町社会福祉協議会の佐藤文一さん(蔵新田)が永年勤続表彰を受けました。

これは秋田県老人クラブ連合会長表彰を受けている方で、十五年以上在職した者が表彰されるもの。昭和五十九年から現在に至る勤務状況が評価されたものです。

文一さんは「今後もがんばっていきたい」と話していました。

◆東由利の文芸◆

(せせらぎ句会)

恵方道孫のすすめる万歩計
初座敷谷の漏れ日の差しわたる
ゆつたりと髭剃る夫の初鏡
初詣九十歳へまた一つ
叱りつつ胎動看つつ初牛舎
座敷まで窓から貰う初茜
初厨小さき祖母の白割煮
たまひたる盥の鯉に年立ちぬ
先づこゑのとびこんで来る子の年始
出羽富士を窓に据へたる初景色

上里 小野石路子
山崎 小松 良子
横渡 高橋ヒデ子
湯出野 小松 徳蔵
久保 高橋 典三
湯出野 佐藤 正義
下小路 小松 メサ
家ノ下 小松 正昭
横小路 宮野源二郎
船木 大庭喜右衛門

よどみなき川の流れや去年今年 蔵新田 小笠原亮子
元朝の水の一滴ひびきけり 高戸屋 小松 敏雄
ほのぼのと明けほのぼのと初茜 中通 小松順之助
傘立ての傘濡れどおし松の内 時雨山 吉川 葉子
初薬師願う福鈴吊るしけり 小倉 遠藤トミ子
クール便とどく組板始めの具 横小路 小松 文介
初梳ぎの牛の子じつとしてをらず 舟打場 高橋民治郎
双つ子も座にまぎれこむ絵双六 五海保 嶺石 レイ
二千年の安泰祈る初詣 蔵新田 小笠原トミ
初詣みやげに貰う守護袋 蔵 阿部 澄子
真新し杓の香ぐわし初手水 秋田市 嵯峨 義之
槌の音響く牛舎の初仕事 蔵新田 小野 貞子

先月号吉川葉子さんの句中「探」は「深」の誤りです。

東中三十周年記念誌販売

東由利中学校創立三十周年記念事業の一環として各種行事が行われましたが、その際に作られた「三十周年記念誌」に若干の残部があります。実費となりますが、購入希望の方は東由利中学校までお問い合わせください。(069-124-100)



▲30周年記念誌

アイドルをさがせ!



小松千尋ちゃん(石高)
(1歳)
お父さん:嘉明さん
お母さん:恵美さん
お話し:恵美さん

三女の末っ子でお姉ちゃん(友里恵ちゃん、葉月ちゃん)に可愛がられる毎日。友里恵ちゃんは妹の小さな頭がかわいいそうです。

チャームポイントは「左の頬にできるエクボです」

好きなもの嫌いなものは「食べ物は何でも食べますし、きらいなものはないようです」

家になついている人は「夜も一緒に寝ているおじいちゃん(幸男さん)です」

最近のエピソードは「歩くことをおぼえたのでおもしろいようです」

将来はどんな人に「明るくやさしく元気な人に。職業は子どもがなりたいたいものに就いてくれたら」

祖母のトミ子さんから一言「いつまでも可愛い子どもで」

2月6日は大平へ

日頃大平スキー場を利用していただいている皆さんに感謝の気持ちをこめて、昨年度から行われている大平スキー場お客様感謝デーが二月六日(日)に行われます。

スキー場従業員一同がアイディアを出し合って様々な趣向あふれる催しを企画して皆様をお待ちしています。

▼イベント内容 ・スキー大会
・スノーボード・メイク大会
・たこあげ大会(手作りだこ募集)

・チューブ滑りで宝さがし
・輪投げゲーム

・スノーモービルでGOGOGO
・ギネスに挑戦(大雪だるま作り・出店)

▼当日特典

リフト券、貸スキー、スノーボが50%オフ。貸ソリ、スキー教室無料。各種行事に参加の場合賞品。
■主催・東由利町大平スキー場
協賛・東由利町公民館・東由利町スキークラブ・フリースタイル
■問い合わせ・大平スキー場
(069-123-118)

イベント

ボランティアを通して 感じたこと

本荘高校下郷分校二年

高橋美和さん



早いもので高校に入学して二年がたとうとしている。幸いにしてこの間印象に残る出来事が数多くあった。ボランティア活動はその中の一つである。

隔週土曜日、二時間のクラブ活動があるが、私は一年になってボランティアクラブに入ることにし

た。クラブでは主に東光苑に行っておむつたたみや食事介助などの手伝いをしていく。

最初のうちは緊張してなかなか自分から行動することはできなかったが、今ではお年よりのふれあいを楽しめるものになっている。それもこれもお年寄りや職員の方々から感謝の言葉をいただいたり、励まされたりしたからだと思う。

いまだに足手まといになっているとは思わなかった。こうした外での緊張をとまなう体験は、自分を見つめたり、周囲と自分との関係を考えてたりする上でもいいことだと最近思うようになってきた。ボランティアをして本当によかったと思う。

東由利は高齢化が急速に進んでいるが、こうした活動を基盤にして、少しでもいいから地域の役に立ちたいものだと考えている。

ふるさと むかしむかし

三三

地蔵淵のいたずらかっぱ

むかしむかし、久保の地蔵淵の近くで田の草取りをしていた弥平さんは、雑草でいっぱい田んぼの中で草取りがはかどらず、うんざりしているのでした。

そんなときに、草藪の方から「弥平どん弥平どん、おらあ地蔵淵のかっぱだ。すもうとろう、すもうとろう……」と声がするので、よく見ると一匹のかっぱが畦の広い所を指さしながら、すもうをとろうと催促するのでした。すもう好きな弥平さんでしたが、何しろ田んぼの草を見るとすもうどころではありせん。それでもかっぱはうるさく催促するので「ん、かっぱや、この田んぼの草をとってくれたら、すもうをとってやろう」と言いしました。かっぱは嬉しそうに、せっせと草を取り始めるのでした。

用心深い弥平さんは「地蔵淵のいたずらかっぱは、お尻から手を入れて人間の肝をとるといふことだから……」と、畦に上って鉄びんの大きなふたを榊の下に入れて草取りをしました。

弥平さんが思ったように、ときどきお尻にさわるかっぱですが、カチンカチンと音がするので「弥平どんのけっちは金けっち……」

とあきらめたのでした。そんないたずらかっぱですが、お陰ですっかり草取りの出来た弥平さんは「かっぱや、草取りも出来たし、約束のすもうの相手になってやるぞ」と、畦の広い所ですもうとりを始めたが、かっぱの強いこと強いこと。小さくせして何度とんでも弥平さんは、すっぽんすっぽんと投げ飛ばされるのでした。

悔しくて腕を組んでいる弥平さんは、いいことを考えたのでした。「かっぱや、すもうには礼儀があつて、まず四股を踏み、両手をついてお互いに見合つて、息の合ったところで立ち上がってすもうを取るのだ……」とおしえてやると、うなずいたかっぱは、弥平さんのまねをしながら四股を踏み両手を

ついてにらみ合いました。かっぱは頭の皿の水が命と聞いている弥平さんです。にらみ合うかっぱの頭から、ポタポタと皿の水がこぼれています。ころあいをみて立ち上がりすもうを取りました。今度はかっぱがすっぽんすっぽん投げとばされるのでした。そのうち地蔵淵に投げとばされたいたずらかっぱは、これはかなわぬと淵から上がってこなくなったという事です。

「久保 高橋徳太郎氏(故人)

文と絵 石渡力造氏



2月▶データ東由利

〈12/1～/31〉

住民基本台帳人口 () は前月比

- 男……………2,523人 (±0)
- 女……………2,652人 (-4)
- 計……………5,175人 (-4)
- 世帯数………1,394戸 (+3)

() は1月からの累計

- ・出生3人(32)・死亡6人(67)
- ・転入4人(85)・転出5人(109)

- 火災出動……………0件 (7)
- 救急出動……………10件 (136)
- 交通事故……………0件 (6)
 - ・死亡……………0人 (1)
 - ・傷者……………0人 (6)
- 飲酒運転…(町内) 0人 (1)
 - (町外) 3人 (15)

2月の行事予定

- 6 大平スキー場お客様感謝デー
- 11 建国記念の日
- 13 町民スポーツ祭・綱引競技
(健康増進センター)
- 19～20 雪ものがたり2000
(道の駅ひがしゆり地内)
- 27 第9回秋田県選抜雪上野球大会
(勤労者野球場)
- 29 畜産講演会(有隣館1:30～)

まごころ
社会福祉協議会に大沼武且さん(蔵)、遠藤カツ子さん(宿)、小松勝さん(黒沢)からご芳志が届けられました。
広報送付謝礼として阿部順さん(秋田市)、阿部功さん(埼玉県)から金一封が届けられました。ありがとうございました。



ほっとひといき

快晴の1月19日、老方のテレビ塔に登りました。これだけ雪が降らない冬もないだろうと写真撮影。カタ雪が幸いしたものの、運動不足の体には非常にきつい一時間の道のりでしたが、自分の前に登った人たちの足跡に力づけられました。いかに最短で楽に歩くか考えているようで、さすが山歩きに慣れている人たちは違うなあと感心することしきり。先月号のふるさとむかしむかしの気持ちが分かりました。この場を借りて感謝。(さ)

東由利

郷土の野草

NO.180

スズサイコ

(ガガイモ科)

文・写真 小松忠正氏

山野または川の堤防(写真・老方マギダ)などに見られる多年草で、高さは三十から六十センチぐらい、根はひげ状の短いものを多数つけます。

茎は細く見えませんが質はかたく、葉は対生で披針形、先端は尖ります。

夏に上の方の葉腋から花梗を出して分枝させ、淡黄緑色の小花をつけます。その蕾が丸く、鈴に似ているので鈴柴胡の和名があります。ガクは五深裂して裂片はせまく尖ります。また花冠も五深裂します。
花期は割合に短く二週間もしないうち実はありませんでした。



戸籍の窓口

(12月21日～1月20日届出)

●お誕生おめでとう

12/27 小野 由香理さん・忠夫
1/6 藤 紗弥さん(直人)・下小屋

●ごめい福をお祈りいたします

12/20 遠藤 賢一さん(76) カツ子・夫・宿
1/6 小松ソデミさん(82) 勝・母・黒沢
1/6 菊地賢次郎さん(75) ハルミ・夫・八日町
1/6 小松 吉勇さん(73) キヨ・夫・下通
1/6 沖津キミヨさん(64) 末藏・妻・横渡
1/6 小松 一男さん(82) キオ・夫・蔵
1/6 石渡 義美さん(90) タセ・夫・蔵新田
1/6 佐々木隆一さん(71) 淳子・夫・大琴

※お詫びと訂正

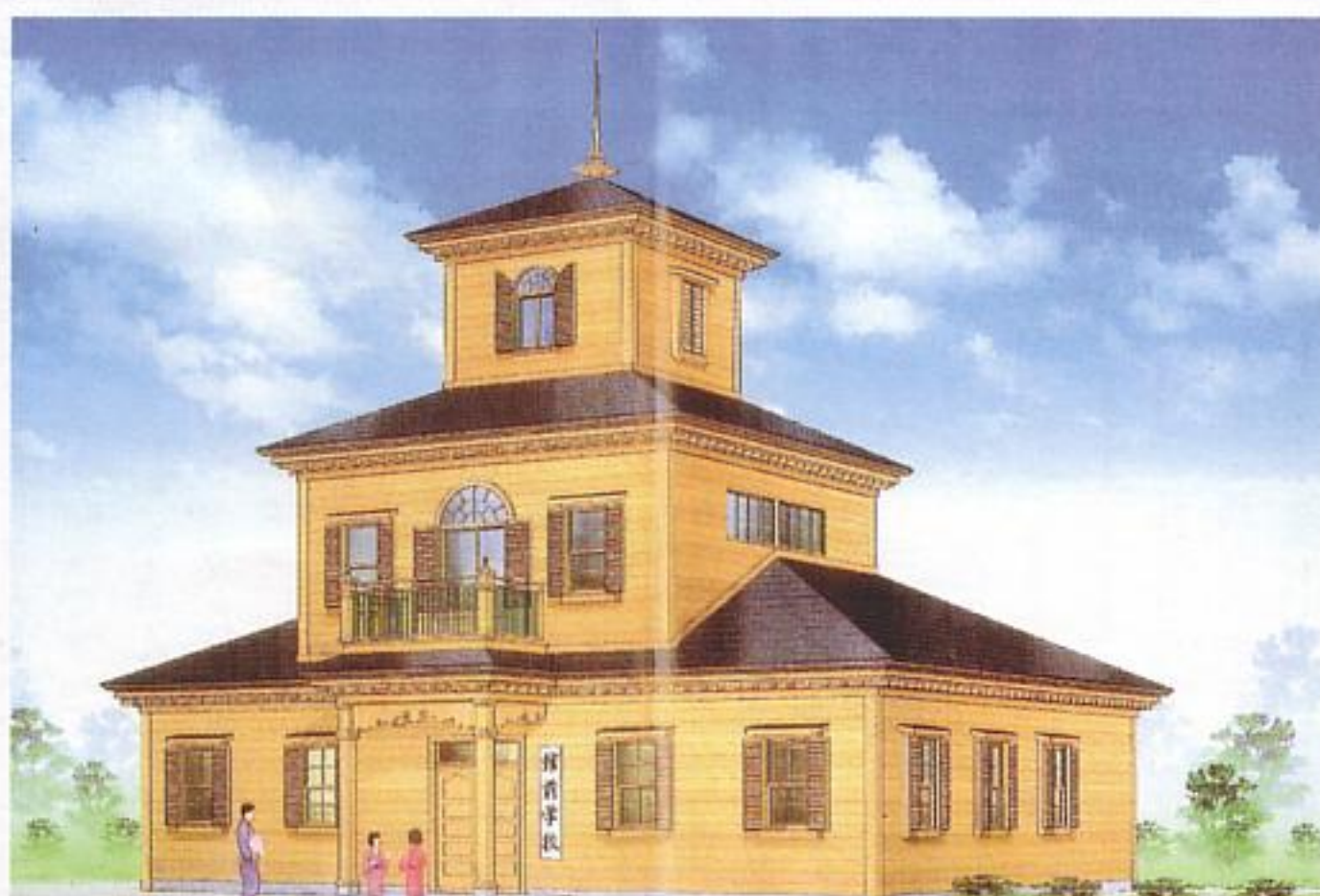
広報一月号「戸籍の窓口」結婚おめでとう欄の小松浩二さんは小林浩二さんの誤りです。訂正してお詫びいたします。

CGで蘇る館前学校

明治十四年に落成した館前学校は、現存する県内最古の木造校舎でした。ドイツ人の技師が設計したというその建物は三階建てでバルコニーがあるなど当時としては実にモダンな作りの

建物だったといえます。また、地域の有志が資金を出し合い建設にこぎつけたということもあり、地域のシンボルとして親しまれました。

しかし、その後、役場、農協購買所などに転用されるなど、長年の歳月を経た結果、建物の老朽化が進み、非常に危険な状態になったため町でこの建物を解体しました。同時にいつでも建物の復元が可能のように、内部及び外部を設計図として整備しました。上図はその図面を元にしているコンピュータグラフィックス(CG)で再現された館前学校の全景です。
現在町では跡地等についてその利用方法などを検討中です。



▲コンピュータ処理で蘇った館前学校